

飯塚市立穂波東小中一貫教育校が完成・開校しました。



生まれ変わった小中一貫校の新たな顔となる図書室のボリューム※1



明るさと分かりやすい動線案内のあるエントランスホール※1



柔らかい木質化の教室※1

CONCEPT

既存校舎を生かす小中一貫校

既存小学校を活用し、中学校を含む統廃合によって生まれた小中一貫校です。

長く親しまれた既存校舎の屋根並みの景観を踏襲しながら、新たに学校の中心となる図書室を、生まれ変わった小中一貫校の顔としました。

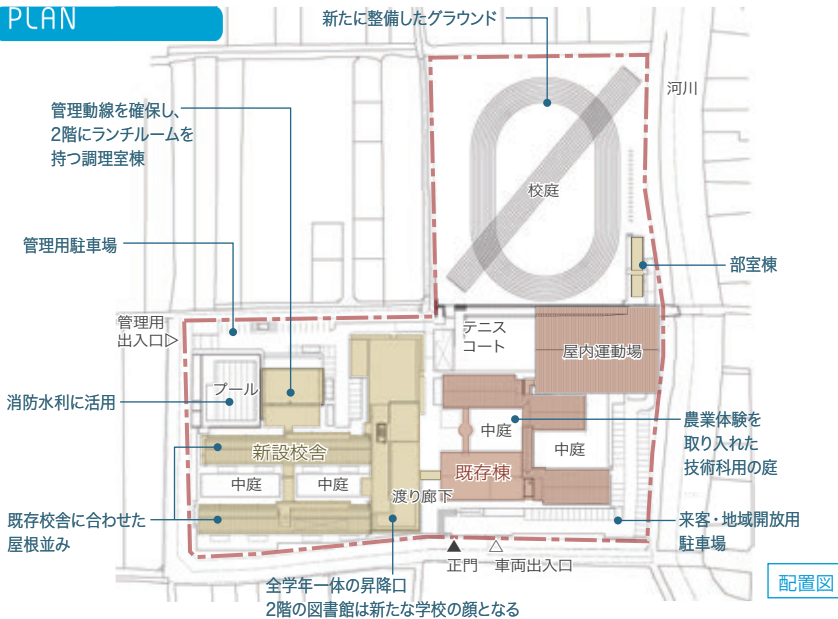
既存校舎は、改修により更新された学校機能を備えつつ、用途と運用管理の異なる児童館を併設し、新たな機能、交流の場を提供しています。

屋内運動場は、小中学校の同時使用を前提に、規模や体育活動に合わせた大小2つのアリーナと武道場、補助的運動のできるスポーツロビーを備えました。



大小アリーナを積層した屋内運動場※2

PLAN



- a : 普通教室
 - b : 特別支援教室
 - c : 調理室
 - d : 保健室
 - e : 職員室
 - f : 集会室
 - g : 図工室
 - h : 技術室
 - i : 家庭科室
 - j : 屋内運動場
 - k : 道場
 - l : サークットトレーニングスペース
 - m : プール
 - n : 中庭
- ▶ 出入口
▶▶ 出入口: 車両

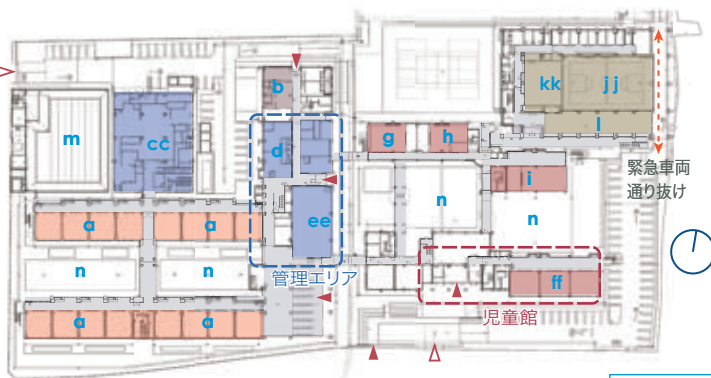


写真: ※1 株式会社エスエス九州支店、※2 前田・豊栄・エムハウジング特定建設工事共同企業体

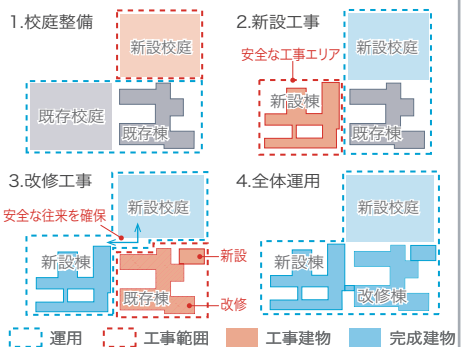
DATA

敷地面積	: 29,589.93㎡
建築面積	: 8,623.58㎡
延床面積	: 18,540.78㎡
建ぺい率	: 29.15%(許容70%)
容積率	: 62.40%(許容200%)
構造・規模	: RC、一部S造
最高高さ	: 23.31m(体育館)
軒高	: 16.1m
階高	: 1・2階4.0m、3階3.65m(教室) 1階6.3m、2・3階4.0m(体育館)
天井高さ	: 3.0m(教室)、1階5.5m、2階 9.75m、3階5.75m(体育館)
主なスパン	: 8.0m×7.7m(教室) 5.5m×8.5m(体育館)
設計期間	: 2013.07~2014.03
工事期間	: 2015.02~2017.10

TOPICS

学校運用を継続するローリング計画

グラウンド新設を起点とした、効率のよい敷地活用による、学校運用を継続しながらの増改築計画です。



▶ <http://www.nissoken.co.jp>